

大学図書館での SA による学習相談の試行的実践

—千葉大学アカデミック・リンクの事例報告—

竹内 比呂也、姉川 雄大、白川 優治、國本 千裕、川本 一彦、
岡本 一志、米田 奈穂、庄司 三千子、谷 奈穂 (千葉大学)

はじめに：本報告の目的と千葉大学アカデミック・リンクの特徴

本報告は、千葉大学が附属図書館において行った Student Assistant (SA)による学習相談の試行的実践を報告することを通じて、学生同士の学習支援のあり方を検討するものである。現在、大学での学生支援は、大学進学ユニバーサル化に伴う大学入学者の多様化への対応や、学生の学習の質を向上させるための大学の学習環境整備のあり方など、多元的な観点からその必要性が議論されている。このようななか、いくつかの大学では、ピアサポート、学習サポート等と称される取り組みとして、学生同士の学習支援が行われており、学生同士の相互成長につながる機会として注目されている。しかし、このような取り組みにおいて、支援する側、支援を受ける側の相互の成長をどのように導くのか、そこに教職員はどのようにかわり、どのようなシステムを整備することが望ましいのかについて、その課題や可能性について必ずしも十分に検証はなされていない。

千葉大学では、2011年度に「アカデミック・リンク」の概念の下に図書館付設型ラーニングコモンズを整備し、学生の自由な学習を可能にする空間と学習相談機能を創設するとともに、授業と関連した教育用コンテンツの開発と提供、情報技術を活用した電子図書資料の提供をはじめとする教育コンテンツへのアクセシビリティ環境の向上を図っている。アカデミック・リンクとは、千葉大学での「考える学生の育成」を目標に、学生を自律的学習者として成長させるための図書館機能の発展的拡張による学習環境整備と実践的取り組み、そのために必要となる研究開発機能の総称である。このような学習環境を実現するための研究開発組織として、時限的学内共同利用機関としてアカデミック・リンク・センターを新たに設置し、新しい学習環境が学生の学習成果にもたらす効果についての実証的検証にも取り組んでいる。本報告は、その取り組みの一部である SA による学習相談の試行的実践について報告することにより、学生同士の学習支援のあり方について具体的な可能性を示すとともに、その課題を提起するものである。

1. アカデミック・リンクにおける学習相談の位置付けと準備

(1) アカデミック・リンクにおける SA による学習相談の位置付け

千葉大学では、大学全体として 2012 年度の実施を目標に、2011 年度中にスチューデント・アシスタントに関する学内規程の整備が進められた。アカデミック・リンク・センターでは、2012 年度の本格的供用開始を前提に、新しい学習環境の整備と各種準備を行った。アカデミック・リンクによる SA を Academic Link Student Assistant (ALSA/アルサ) と呼ぶこととし、本格実施の前に学習相談を試行することで、その可能性と課題を検討することにした。この ALSA による学習相談は、①補習教育的学習相談のみならず自律的学習者としての成長の支援を目的とすること、②図書館施設内で実施する特徴を活かした「コンテンツ」を活用した学習支援を行うことを基本的方針とし、学習相談に留まらない発展的な学習支援として位置付けた。

(2) 実践のための準備

ALSA による分野別学習相談を始めるにあたり、北海道大学アカデミック・サポートセンターや国際

基督教大学、上智大学、名古屋大学、東京外国語大学の各図書館などへの訪問調査を行い、先行大学の取り組みについての情報収集を行った。学内での準備として、相談対象となる数学・物理・化学の各分野を専門とする専門教員集団¹との協議を継続的に行うことで学内教員の協力体制の整備に取り組み、また、学生相談室等の既存の関係部署との連携体制の構築を行った。先進事例の蓄積を参照し、学内関係各所の協力を得ることで、アカデミック・リンクの理念に基づいた学習相談体制の整備に取り組んだのである。

2. 試行実践の概要とその成果

(1) 試行的実践の基本方針

アカデミック・リンクにおける学習相談の試行では、①教室や学習室などの個室ではなく図書館施設内のオープンな場所で行う、②相談行動の変化をみるため試験期間を含めた1ヶ月間行う、③相談分野は数学・物理・化学の自然科学領域とともに、文系分野の「レポートの書き方」の4分野を置き、授業時間にあわせた時間割形式で実施する、④各分野を専門とする大学院生が ALSA として学習相談を受ける、⑤学生相談室等との協力体制を整備し、学習相談を超えた学生支援を可能とする、⑥学習相談の記録用紙、利用者アンケート、業務日誌等を整備して情報を蓄積することでシステムの改善を図る、⑦ALSA は事前研修・事後研修（振り返り）に参加し、支援者としての気づきやシステムの課題と改善を全体で共有する、を基本的な実施方針として取り組むこととした。これらのうち⑥と⑦は、ALSA を学習相談を受けて質問に対応する受動的な存在ではなく、相談者の学習過程を共有する支援者であり、そのことを通じて自分自身の成長とシステムの運営と改善にも参加する役割をもつ自律的な存在と位置づけたために実施したことである。このような基本方針のもとで、数学・物理・化学・文系の各分野の教員に大学院生の推薦を求め、13名の大学院生等を ALSA として採用し、2012年1月16日から2月17日の5週間にわたり、図書館内での学習相談を実施した。

(2) 結果の概要

5週間の学習相談の試行の結果、相談件数、相談者の状況、相談時間は次のとおりであった。

- ①相談件数：5週間で総数21件（数学7件、化学8件、物理6件）、総人数23名
- ②相談者の所属：工学部10件、教育学部3件、法経学部3件、理学部2件、理学研究科1件
- ③相談時間：平均40分（最長70分、最短10分）

このような結果から、千葉大学においても分野別個別学習相談について、一定のニーズがあることが確認できた。また、相談者への利用者アンケートの記載内容からは、高い満足度が示されていた。

2. まとめと今後の課題

アカデミック・リンクのSAによる学習相談は試行的実践として一定の成果をもたらした。しかし、相談をうける ALSA の専門分野と相談内容のミスマッチ、相談時間割の見直し、相談領域の分野のあり方など課題も明らかになった。2012年4月以降の本格実施では、これらの課題への対応を含めて取り組んでいる。報告では改善箇所を含めて紹介するとともに、SAによる学習相談のあり方を議論したい。

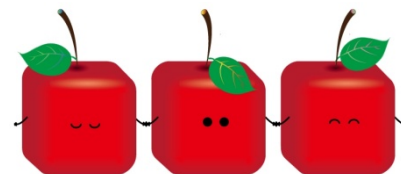
注)

¹ 専門教員集団とは、千葉大学において学部をこえて専門領域ごとに教員が所属する学内組織である。普遍教育センターと協力し、普遍教育・共通基礎教育の教育課程・授業運営を担当している。

大学教育学会 第34回大会(北海道大学)

部会14 学生・学習支援/E207会場

2012年5月27日 10:00-10:20



大学図書館でのSAによる学習相談の 試行的実践

— 千葉大学アカデミック・リンクの事例報告 —

竹内比呂也・姉川雄大・白川優治・國本千裕・

川本一彦・岡本一志・米田奈穂・庄司三千子・谷 奈穂

千葉大学 アカデミック・リンク・センター

alc-info@chiba-u.jp /@ALC_Chiba_Univ

本報告の概要

- 本報告の**目的**
- 千葉大学**アカデミック・リンク**とは
- 千葉大学の**SA制度**とアカデミック・リンクにおける「**学習相談**」の位置付け
- 「**ALSAによる学習相談**」の**試行の基本方針**
- 2011年度 **試行結果**の概要と特徴
- 試行からみえた**課題と改善**
- 2012年度 **本格実施**の現況
- 千葉大学アカデミック・リンクにおけるSAIによる学習相談からみた**可能性**

本報告の目的

- 本報告の問い
 - 学生同士の相互支援(ピアサポート)において支援する側、支援を受ける側の相互の成長をどのように導くのか、そこに教職員はどのようにかかわり、どのようなシステムを整備することが望ましいのか
- 本報告の目的
 - SAによる学習相談の試行的実践について報告することにより、学生同士の学習支援のあり方について具体的な可能性を検討する

千葉大学アカデミック・リンクとは

- 目標と方法
 - 「考える学生の育成」を目標とする学習環境整備
 - 学生を自律的学習者として成長させるための図書館機能の発展的拡張
- 基本的コンセプト
 - ①学習空間、②人的サポート、③コンテンツ活用の有機的連結
 - 「見る」「見られる」ことによる学習意欲の喚起
 - コンセプトビデオ/コンセプトブックの作成
 - http://alc.chiba-u.jp/concept/concept_video_book.html

千葉大学附属図書館 本館N棟(西千葉キャンパス)



アカデミック・リンクの特徴① プレゼンテーションスペース



アカデミック・リンクの特徴② ブックツリーという「見せる」書架



アカデミック・リンクの特徴③

図書館付設型ラーニングコモンズ機能



アカデミック・リンクの特徴④ 多様な学習環境の整備



静謐環境



グループ学習室



Learning Commons/PC環境



PC環境



個別学習
スペース



Learning Commons

アカデミック・リンクの特徴⑤ 学習支援:コンテンツ活用の促進

授業資料ナビゲータ(PathFinder) 教養展開科目

平成 23 年度(2011) 履修コード: G19051101

教育・学校と社会

月 5 白川優治先生

キーワード: 教育と社会 教育社会学 教育問題 教育政策

一実際に利用した資料にはチェックをしましょう。

Web 授業のテーマに関連したデータベースやサイトです。

- 文部科学省 <http://www.mext.go.jp/>
→ 教育全般についての情報があります。白書、統計等へのリンクもあります。
- 読売新聞 教育ページ <http://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/>
→ 以下にあげる新聞のページでは、教育問題の過去、最新の情報を得られます。また、図書館 HP のヨミダス(学内のみ)から、キーワードで検索してみましょう。1986 年以降のデータを検索したり、全文が読めるものもあります。
- 朝日新聞 教育ページ <http://www.asahi.com/edu/>
→ この他にも、図書館 HP の関連 II (学内のみ) から、キーワードで検索してみましょう。1986 年以降のデータを検索したり、全文が読めるものもあります。
- 毎日新聞 子育て・教育ページ <http://mainichi.jp/life/edu/>
- 産経新聞 教育ページ <http://sankei.jp.msn.com/life/newslist/education-edo-n1.htm>

図書 本には、テーマに関連する内容がまとめられています。授業のテーマをつかむにはまずはここから始めましょう。教育学に関する図書は、**分類番号**が「371」の書棚にありますので、直接その場所に行って、どのような本があるのかの手にとってみましょう。

★のついている図書は、授業期間中(4月~8月)は本館1階 授業資料ナビコーナーにあります。

- 『**教育の社会学：「常識」の問い方、見直し方**』(有斐閣アルマ; Specialized) 新版 苅谷剛彦[ほか]著 有斐閣 2010
→ 現代日本の教育問題の焦点、「いじめ」「幼児教育」「ジェンダーと教育」「学歴社会」をとりあげています。実態の認識から、方法の特徴、理論・研究の動向まで学べます。 ★【免注中】
- 『**教育社会学**』(有斐閣ブックス) 柴野昌山, 菊池城司, 竹内洋編有斐閣 1992 ★【免注中】
- 『**教育学をつかむ**』(Textbooks tsukamu) 木村元, 小玉重夫, 船橋一男著 有斐閣 2009
→ 教育学のエッセンスを解説した教育学入門です。 ★【本館閲覧室3階 371/KY0】
- 『**教育社会の設計**』(UP選書) 矢野真和著東京大学出版会 2001
→ 学校・会社・家庭の相互関係を実証的に説明しています。 ★【本館閲覧室3階 371.3/KY0】
- 『**教育学**』(ヒューマニティーズ = Humanities) 広田照幸著 岩波書店 2009
→ 教育の思想や制度は、社会の大きな変動のなかで変容を遂げていますが、その中でいかに教育学の何が組み換えられていくべきなのかを述べています。 ★【本館閲覧室3階 371/KY0】
- 『**教育論議の作法：教育の日常を懐疑的に読み解く**』 広田照幸著 時事通信出版局 2011 ★【免注中】



教員の紹介図書の排架

授業資料ナビ
(授業ごとの参考文献リスト・指定書リスト)

千葉大学のSA制度とアカデミック・リンクにおける「学習相談」の位置付け

• 千葉大学のSA制度との関係

- 2011年度中にスチューデント・アシスタントに関する全学規程の整備(学部生のみならず大学院生を対象に包含)
- アカデミック・リンクによるSAをAcademic Link Student Assistant(ALSA/アルサ)と呼称

• 「学習相談」の基本方針

- ①補習教育的学習相談のみでなく**自律的学習者としての成長の支援**を目的とする
- ②図書館施設内で実施する特徴を活かした**「コンテンツ」を活用した学習支援**を行う

「ALSAによる学習相談」の試行

- 試行の際の実施方針
 - ①オープンな場所
 - ②試験期間を含めた1ヶ月間
 - ③「数学」「物理」「化学」および文系分野の「レポートの書き方」
 - ④授業時間にあわせた時間割
 - ⑤各分野を専門とする大学院生
 - ⑥学生相談室等との協力体制の構築
 - ⑦相談記録用紙、利用者アンケート、業務日誌等を整備して情報を記録し、蓄積することでシステムの改善を図る
 - ⑧ALSAは事前研修・事後研修(振り返り)に参加し、支援者としての気づきやシステムの課題と改善を全体で共有する

試行実施の準備と検討課題

- 試行(2012年1月~2月)を経て、2012年4月より本格的に実施
- 他大学への訪問調査: 先行的取組みから学ぶ
 - 北海道大学 アカデミックサポートセンター
 - 東京外国語大学 図書館 多言語コンシェルジュ
 - 上智大学 図書館 ラーニングコモンズ
 - 国際基督教大学 図書館 ラーニングコモンズ
- 準備過程での検討課題
 - 何を担当するか: 科目内容とレファレンスとコンテンツ利用
 - ALSAをどうやって集めるか: 公募か推薦か
 - 専門領域の教員(集団)との連携: 温度差も
 - 制度的位置づけと報酬: 既存のTAとの均衡、教育歴としての扱い
 - 事前研修・事後研修のあり方

2011年度 学習相談試行

- ALSAの構成
 - 各分野の専門教員集団等から推薦を受けた大学院生13名
(数学・5名、化学・2名、物理・2名、文系・4名)
- 実施期間
 - 2012年1月16日～2月17日
(試験期間を含む5週間)

投げ出す前に 先輩にきいてみない？



学習相談 実施中

1月16日～2月17日@附属図書館本館1階

各分野を専門とする千葉大学院生が Academic Link Student Assistant (ALSA/あるさ) として、下記のスケジュールで学習相談に応じます。

	月	火	水	木	金
1 限目※2	レポート※1			数学	数学
2 限目	レポート	数学	レポート	数学	数学
3 限目	化学	レポート	レポート		物理
4 限目	化学		数学	物理	化学
5 限目		レポート	数学	物理	化学

※1 「レポート」 … 文系科目の「レポートの書き方」や「学習方法」についての質問を受けます。

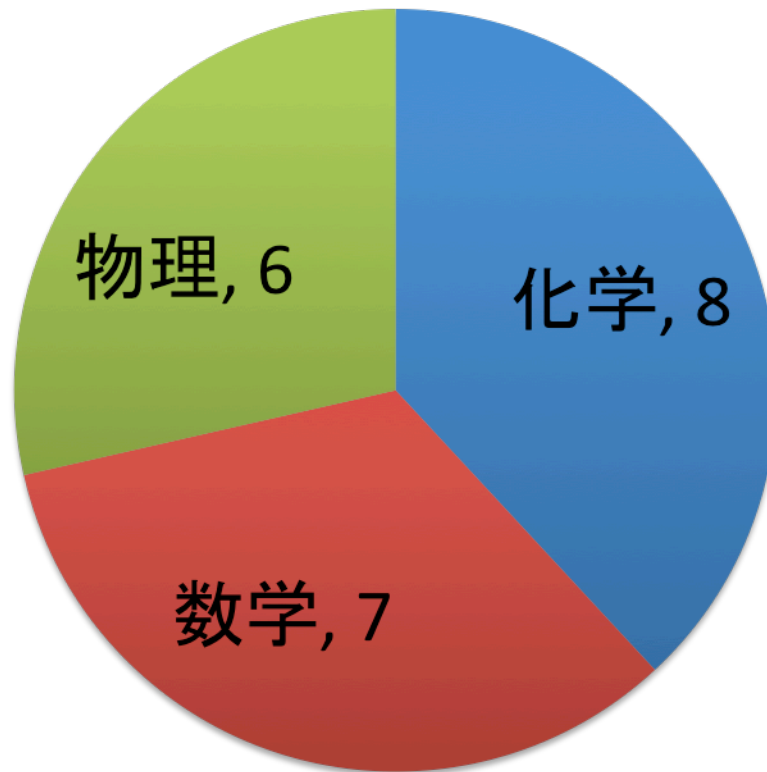
※2 1限目は授業時間とは異なり、09:30-10:20 となります。その他の時間は、千葉大学の授業時間と同じです。

千葉大学 アカデミック・リンク・センター



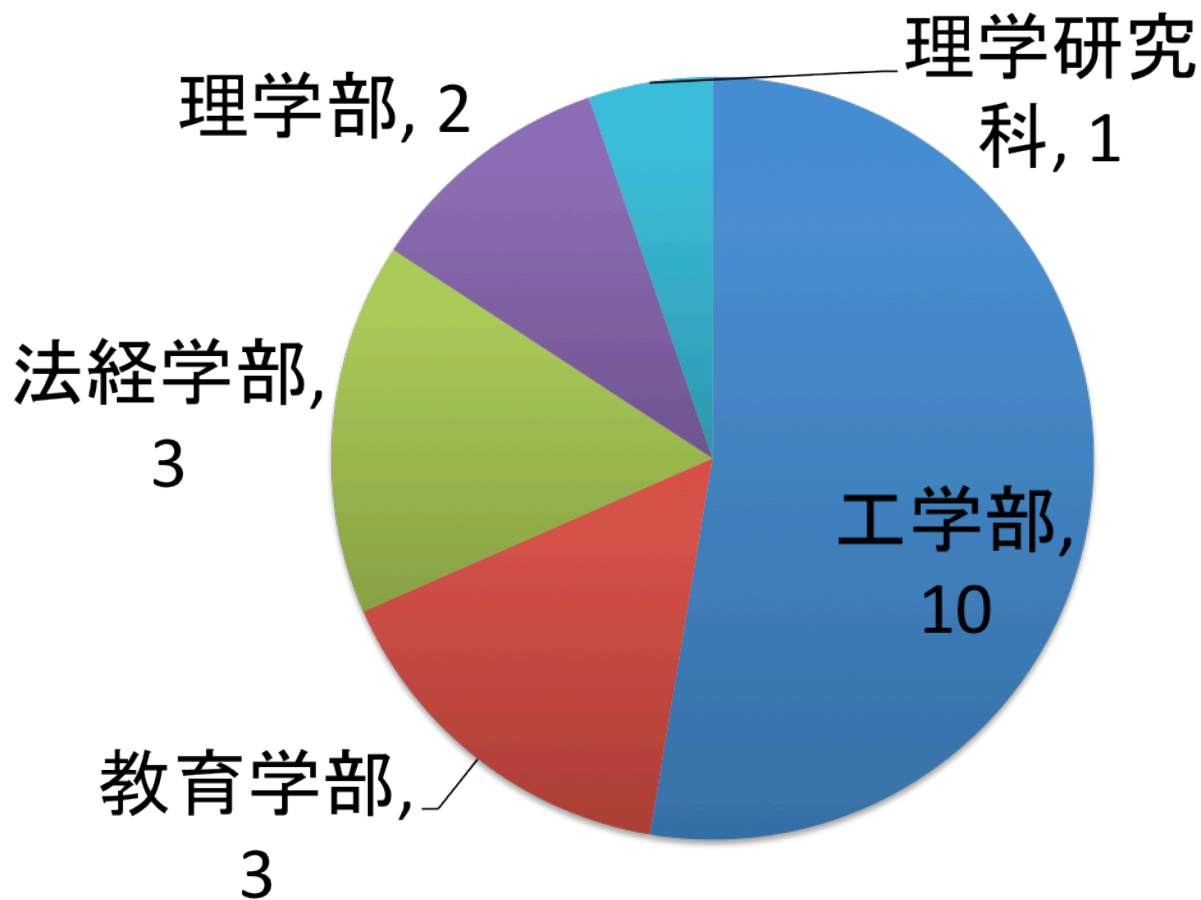
2011年度試行の結果

相談件数 (n=21)



(のべ人数=23名)

2011年度試行の結果 相談者の所属 (n=21)



2011年度 試行 相談時間

- 平均40分(最長70分、最短10分)

試行からみえた課題と改善

- 試行結果からの課題
 - 文系の「レポートの書き方」の位置づけ
(ただし、附属図書館主催「レポートセミナー」が2011年12月～2012年1月にかけて計5回開催され、総計約50名の参加者があった)
 - 相談時間帯の課題: 相談にくるのは午後から夕方为中心、午前中は少ない
 - 担当可能領域の課題: 物理分野では、工学系の院生がいなかったため、工学物理には対応が不十分であった。
- ALSAによる振り返り会(事後研修)での意見
 - 専門分野の問題: 物理、化学、数学の各分野内の専門(例えば化学なら有機、無機など)の担当者の配置
 - 時間設定の問題: 授業時間で区切るよりも昼休み、放課後(5限後)にニーズがあるのではないか
 - 対応方法の問題: メールで相談を受け付けることの提案

2012年4月からの本格実施での変更点

- 改修工事後の新施設内のラーニング・コモンズスペースで**学習支援デスク**の運用
 - ハイブリッドな学習支援体制の構築
- **分野別学習相談体制の改善**
 - 昼休みを含めるように時間割の変更
 - ALSAの増員と専門分野の多様化(工学系の増員)

分野別 学習相談

@附属図書館N棟2階

学習支援デスク



	月	火	水	木	金
11: 30-13: 00	物理	文系学習 相談	数学・ 物理	物理	数学
13: 00-14: 30	-	文系学習 相談	文系学習 相談	数学	文系学習 相談
14: 30-16: 00	化学	化学	-	数学	化学
16: 00-17: 30	化学	化学	-	物理	物理

※「文系学習相談」はレポートの書き方、大学での勉強の仕方などです。

各分野を専門とする千葉大学院生が
Academic Link Student Assistant (ALSA)
として学習を支援します。
授業でよくわからないこと、
図書館で先輩にきいてみよう!



N棟2階 学習支援デスク

Academic Link
Chiba University | Academic Link Center

レファレンスサービス

データベースの使い方がわからない！

資料・文献の探し方がわからない！

そんなとき
図書館員が
サポートします！

月から金曜

12:00-13:30

14:30-16:00

受付中



問い合わせ先：
アカデミック
(alc-ir)

図書館員による 学習サポート



N棟2階 学習支援デスク

オフィスアワー

授業のこと、進路のこと、大学での生活のことについて、千葉大学の教員が質問に答えます。

当面は、アカデミック・リンク・センターの教員を中心に下のスケジュールで行います。

	月	火	水	木
10:30-12:00	-	-	姉川雄大 (歴史学)	-
13:00-14:30	白川優治 (教育学)	-	竹内比呂也 (図書館情報学)	岡本一志 (経営学)
14:30-16:00	藤本茂雄 (物理学)	川本一彦 (情報工学)	-	-

「オフィスアワー」とは、教員が学生からの質問や相談に応じる時間です。



問い合わせ
アカデミック・リンク・センター
(alc-info)

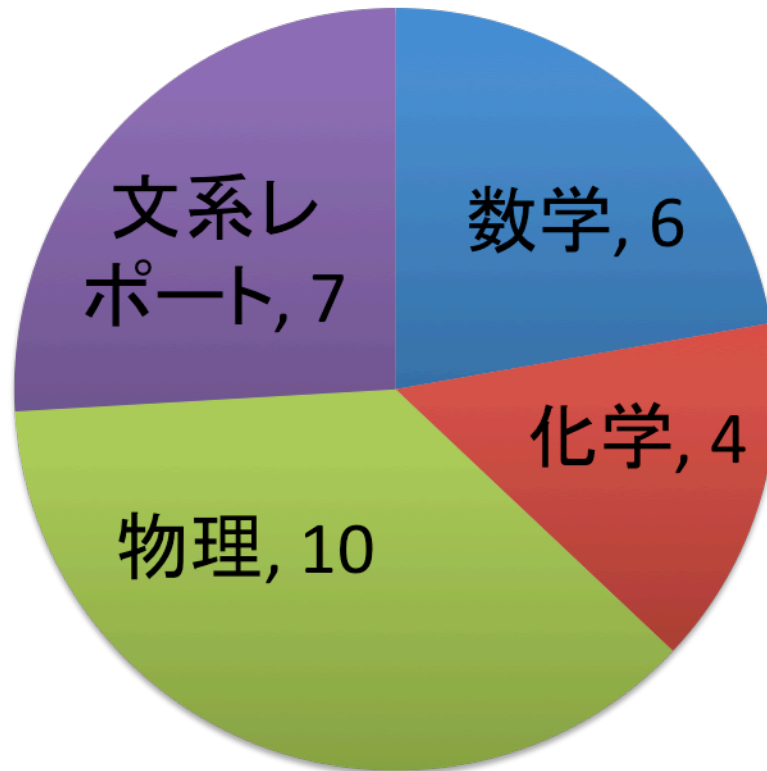


オープンスペースでの オフィスアワー

2012年度 本格実施の現況

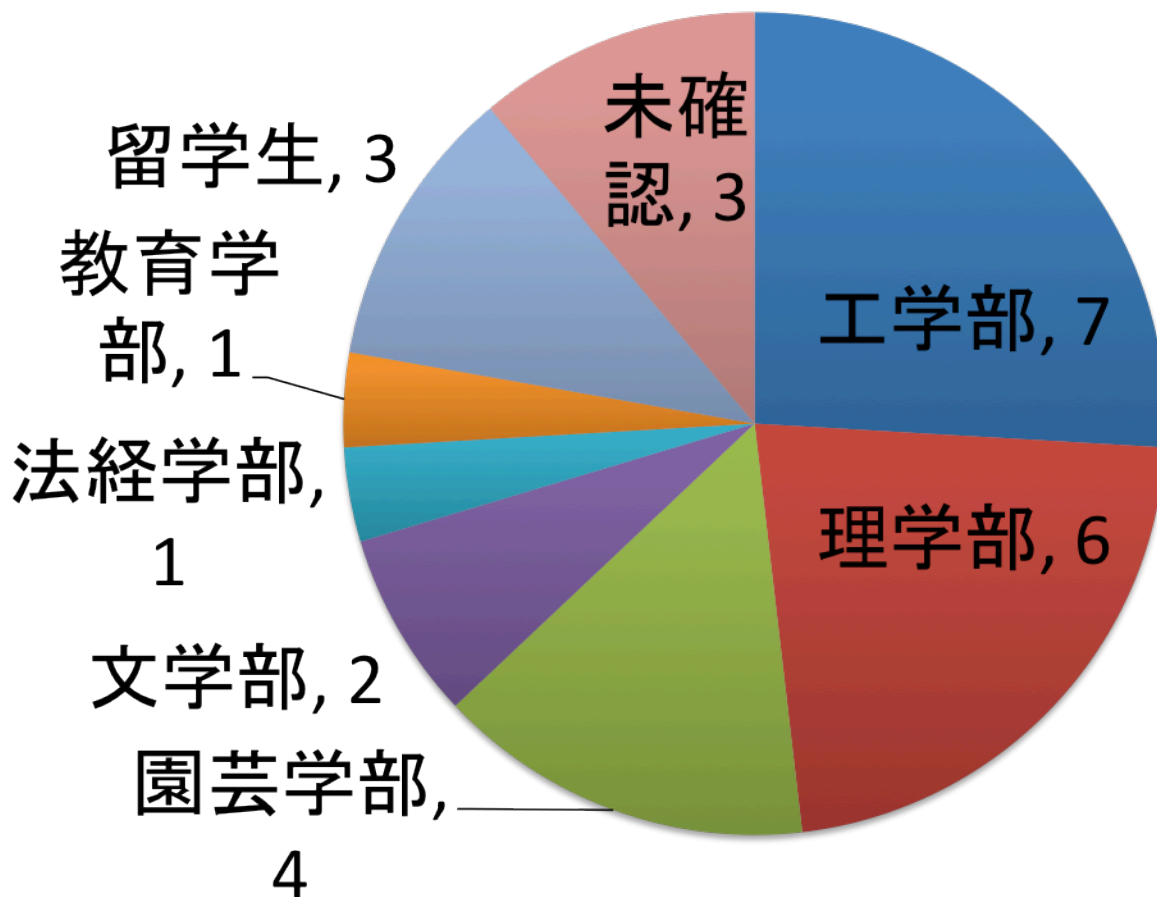
- ALSAの構成
 - 17名：試行経験者 11名と新規公募採用大学院生6名
 - （数学・4名、化学・4名、物理・5名、文系・4名）
- 実施期間
 - 2012年4月23日～8月7日（前期終了まで）
- 相談時間
 - 平均24.3分（最長60分、最短5分）

相談件数 (5月22日まで, n=27)



(のべ人数は37名)

相談者の所属 (5月22日まで, n=27)



千葉大学アカデミック・リンクの試行からみたSAによる学習相談の可能性

- 自律的成長を促進する工夫
 - 相談担当ALSAの成長
 - 記録の集積と共有による個別取組の改善の継続
 - 事前研修-相談担当-事後研修による全体への参加
 - システム全体の成長
 - 事前/事後研修による定期的モニタリングを通じたPDCAサイクル
 - 学生相談室等の学内関係組織との連携
 - SA・図書館員・教員のハイブリットな学習支援体制による役割分担と負担軽減
- 今後の課題
 - コンテンツを利用した学習相談・支援の強化・促進